

スーパー陸上2009川崎 注目の日本人対決！

★短距離界の女王対決！福島・高橋が日本記録更新に挑む

日本女子短距離界のエース、福島千里（21＝北海道ハイテクAC）が100mに出場予定！6月のスプリント挑戦記録会兼布勢リレーカーニバル（鳥取）では11秒24を記録し、自身が2008年4月に記録した日本記録11秒36を更新した。6月26日の日本選手権（広島）200mでも、5月に記録した自身の23秒14の日本記録を塗り替える23秒00で初優勝。今季に入ってリレーを含めて5度も日本新記録を出すなど好調をキープしている。8月の世界選手権（ベルリン）でも初の日本代表に選出されており、活躍が期待される。

その勢いそのままにスーパー陸上に乗り込んでくる。昨年のスーパー陸上では100mで日本人として初優勝を遂げた。今大会でも海外勢を抑えて優勝する可能性は十分ある。また、今大会では幼少時からのライバルで親友でもある高橋萌木子（20＝平成国際大）と対決する予定だ。今季の直接対決では福島の全勝だが、高橋も6月12日の日本学生個人選手権で大会新となる11秒62で優勝、福島が不在だった日本選手権でも11秒34で優勝している。2人の対決から目が離せない。「福島」の名はもはや世界基準で、2008年の北京五輪では女子100mで同種目日本人女子56年ぶりとなる五輪出場を果たした逸材。スーパー陸上での走りは見逃せない。

★男子短距離界のエース、塚原と高平が100mで激突

「和製カール・ルイス」と言われた日本のエース、朝原宣治氏が、昨年のスーパー陸上をもって現役引退。朝原とともに北京五輪4×100リレーで銅メダルを獲得した塚原直貴（24）と高平慎士（25＝ともに富士通）という、日本の短距離界を背負う二人がスーパー陸上100mで対決する。塚原は6月の日本選手権（広島）で日本歴代5位の10秒09を記録。決勝は欠場したが、同種目での8月世界選手権（ベルリン）出場を決めている。高平も日本選手権で200mに出場し、日本歴代3位となる20秒22で優勝。6月の布勢カーニバル100mも自己新記録の10秒32で優勝し、勢いそのままに世界選手権に乗り込む。

世界選手権でも上位進出が期待されそうな2人に割って入るのが、大学生の新星・江里口匡史（20＝早大）だ。江里口は日本選手権準決勝で10秒07を記録し、自己記録を更新。世界選手権にも出場する急成長株だ。塚原は、欠場した決勝のレースで江里口に日本歴代4位の記録を更新されており、完全決着に燃えている。3人のガチンコ対決が実現する今年のスーパー陸上。伊東浩司氏が記録した10秒00の日本記録更新、そして夢の9秒台は記録されるか。男子短距離の精鋭たちの「最速」をかけた戦いから目が離せない。